

てとてと通信の“てとて”は手と手との“てとて”。  
みんなで手をつなぎ子育てできるといいですね！

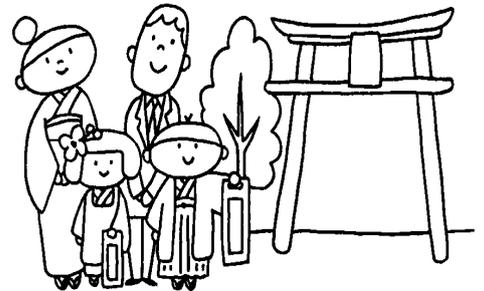


11月4日・11日・18日・25日（毎週木曜日/祝日除く）

10:00~12:00・14:00~16:00

※予約不要 先着各4組

定員を超えた場合は入室していただけないことがあります  
大人の方はマスクの着用をお願いいたします  
検温と手の消毒を実施しております



## ファミサポ説明会(予約制)

令和3年11月12日(金)受付時間:10:00~16:00 市役所北館2階

お近くに頼れる人がいなくて不安な方、また子どもが好きで子育てのサポートや時間の有効活用をしたい方、ぜひファミリーサポートセンターへの登録をおまちしています

(予約・お問い合わせは下記ファミリーサポートセンター窓口までお願いします)

- 利用(サポート)内容・保育所・児童ホームへの送迎やその後の預かり  
産後のサポート、兄弟姉妹の学校行事や検診時の預かり等
- 対象年齢……0歳から小学6年生
- 利用料金(報酬)……1時間 800~900円

※マスクの着用、検温、手指消毒にご協力をお願いします。

## たなごころ -霜月-

掌(たなごころ)とは“手の心”という意味。手のひらを開くことは、自分の心を開くこと。  
職員もちょっと心を開いて話してみます。

子どもが生まれて大人になるまで様々なことを伝え育てた様なつもりでいましたが、日々の事に追われて今振り返ると想いは伝えられていたのかと反省することも多いです。子どもの小さな時は、こちらも親として新米で人生経験も浅く、すべてが正しかったとは言い難く疑問点も多々あります。未熟な親の元で育ててくれた我が子を見ていると昔の自分よりはずっとしっかりしている気もします(親ばかですね)。子どもが小さな時にほんやりと、当たり前なことかもしれないかもしれませんがどこに居ても“衣食住”が自分でできるようになってくれること、地球上のどこに行っても元気にいてくれることが一番良いと考えていました。

社交的な我が子は、様々な失敗や経験を通して、自分で考え選択することを繰り返して成長しました。親が頼りなかったのかもしれないね。その中で友達も増え、いろいろな人と繋がりはじめている姿を見ていると、心を開いて人と接していけば多方面で知り合いができて、考え方や生き方にもプラスにしていけるチカラになるものだと親の方が学ばせてもらっている気がします。小さな時から尼崎からほとんど出たことのない私は、その姿を羨ましく眺め、今となっては、こちらが知らないことを教えてもらえる事を嬉しく幸せに感じ、関わってくれている周りの人に感謝しています。自分なりに幸せって思えることを積み重ねていってほしいと思います。(S.U)

お問い合わせ

〒660-0828 尼崎市東大物町1-1-2 尼崎市社協会館内 尼崎市社会福祉協議会

TEL: 06-6489-3550 (おやこの森)

06-6489-3067 (ファミリーサポート事業専用)

※HPもご覧くださいね!! <http://amasyakyo.jp/familysupport/>



\*イベント予定が変更になる場合もあります。お問い合わせは上記の電話番号までご連絡ください